

燕市の公立保育園の民営化について

1. 保育園の民営化について

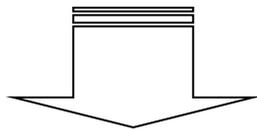
現在、本市では、少子化による園児数の減少や保育ニーズの多様化、老朽化した園舎への対応のほか、幼児教育・保育の無償化に伴う市の財政負担の増加が大きな課題となっております。

これらの課題に対応するため、平成 23 年 2 月に策定した「第 1 次計画」を引き継いだ、「第 2 次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画」を平成 31 年 3 月に策定し、これまで同様、幼稚園・保育園の適正配置や民営化による保育サービスの拡充など、幼児教育・保育の充実を図ってまいりました。

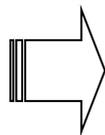
平成 25 年 4 月には吉田地区で、公立保育園の 2 園を統合民営化した「きららおひさま保育園（当時）」が開園し、さらに、平成 31 年 4 月には燕市立吉田西太田保育園を「きららにこにこ保育園」に民営化し、民間ならではの保育サービスが入園された園児の保護者から喜ばれております。

本市が保育園の民営化を進める背景

- 厳しい財政事情の中、地方自治体は、より一層効率的な行政運営により経費の節減を図る必要があり、民営化はその一つの方策です。
- 公立保育園の建設・運営に対する国県の補助金は打ち切られましたが、私立保育園については国・県の補助金を受けることができます。
- 幼児教育・保育の無償化に伴う市の財政負担の増加が予想されます。



保育園を民営化することにより

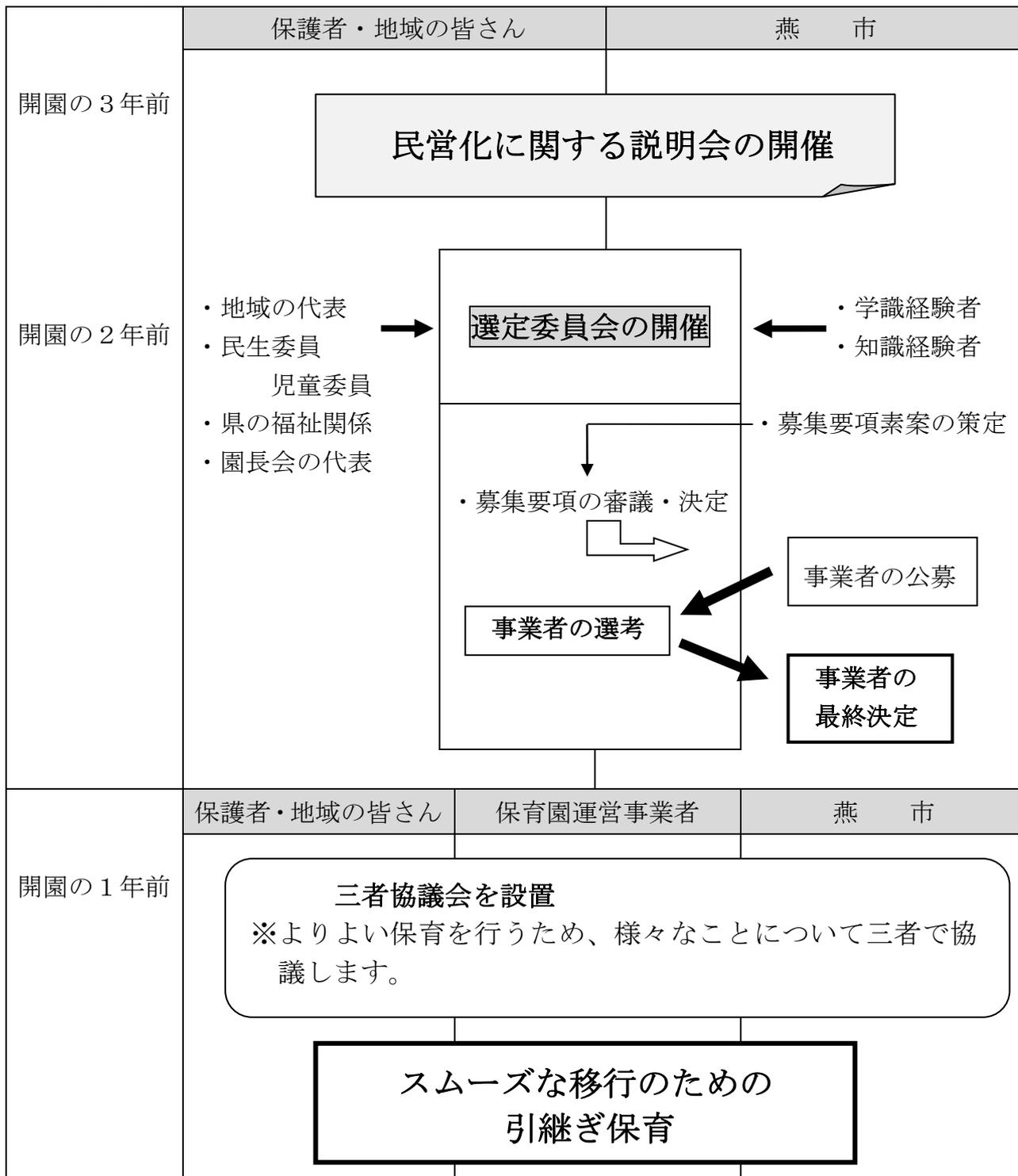


- 国の補助金を活用した施設整備が可能となり、運営費についても国・県の補助が受けられることから、市の財政負担を軽減することができます。また、幼児教育・保育の無償化に伴う市の財政負担の増加を抑制できます。
- 民間保育園の持つ良さが発揮でき、多様な保育ニーズに迅速な対応が可能となります。

2. これまでの保育園民営化の取り組みについての経過

- 平成 23 年 3 月 「燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画」策定
- 平成 25 年 4 月 私立「きららおひさま保育園」新設開園
(燕市立吉田南保育園閉園、燕市立吉田八千代保育園閉園)
- 平成 27 年 4 月 私立「きららおひさまこども園」に移行
- 平成 31 年 3 月 「第 2 次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画」策定
- 平成 31 年 4 月 燕市立吉田西太田保育園を私立「きららにこにこ保育園」に民営化
- 令和 3 年 4 月 「分水小学校区における新たな保育園」新設開園
(燕市立地蔵堂保育園、燕市立笈ヶ島保育園、私立立正保育園閉園)

3. 民営化移行までの主な流れについて



開 園	<ul style="list-style-type: none"> ・民営化後もサポート 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>保育園の運営</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問指導によるサポート ・指導・監督
-----	--	--	--